

自 文化十年三月

至 明治四年正月

旅
日
記

藤井村

瀬戸

長兵衛

自 文化十年三月

至 明治四年正月

旅 日 記

藤井村

瀬戸

長兵衛

目次

一、文化(一八三三年)十西三月

旅日記 澤長……………4

一、戊(一八四八年)弘化五未

旅日記……………

申 三月吉日

一、時時(一八七〇年)明治三年

入湯行道中
并受弊記

庚午四月廿五日
出立

一、(一八七一年)明治四年

辛未正月 にて

伊勢熊野

道中都鄙記
并蔦□

三月十八日 癸 雨天

鹿ヶ瀬 昼飯

湯浅 広久泊り 弁当持

宿料貳朱壺 厂

三人

十九日 天气曇

岡屋道 昼

此所より井ノ口迄駕に乗る

ちん 三匁なり

宿りあら川

荒川屋伊助 百五十ツツ

弁当

廿日 晴天

粉河寺参詣 昼喰 加瀬田

□ □ □ □ □

明寺より戻り駕に乗る

橋本迄 ちん 貳百三十六匁

廿一日 晴天

晝飯 ウノ峠麓

泊り よしの吉水院おり口

若松屋宇之助

貳百七十文ツツ

御開帳ニ付宿ちん大高□皆

□□と同宿渡し

行者様御開帳場

奥ノごぜん

廿二日 晴天

行者御開帳に參詣

宿より四十丁上ル

坊方不残室内開帳

子字大明神□□□

金の大鳥井

蔵王堂 二

大門 二

けぬきの塔入口八

釣鐘

昼飯 上市村

夫よりいも坂難所坂式つ

お武峯迄不残山上り下り

山づたいお武峯参詣

泊り 萬屋半七

貳百匁ツツ弁当

廿三日 晴天

お武峯より初瀬参り

初瀬昼食夫より

□□□け□□

三輪参詣

三輪より野道ニ出櫻井

街道出毛綿屋次兵衛

八木 弥木 泊り 百七十文ツツ

八木ヨリ高田壺里余

高田ヨリ當麻六里余

廿四日

曇天

八ツ過ヨリ少々雨ふる

當麻・龍田・法隆寺□□参詣

泊り郡山 昼飯次兵衛百六十匁ツツ
當麻ヨリたまる迄馬に乗る
たまる昼飯

廿五日

雨天 百三拾文ツツ弁当
奈良 晝飯、所々神社参詣
□□院庭拜件 夫よりなばり越え
柚の川泊り 墨屋藤四郎
此在所山中

廿六日

雨天 峠昼喰
十八丁下り坂ノ下にて はい
ばらより近道を行□なばり泊
り木せん 湯浅組ニ□八ツ時泊り

廿七日

天気 いせぢ昼喰
二本木泊り弁當百五十文ツツ
藪の内作兵衛

廿八日

晴天 昼喰 松坂入口

は□ヨリ三□に参ル
本明□泊り百六十文ツツ
大野屋三次兵衛

廿九日

晴天

四ツ時□□□行夫ヨリ内宮宮
通り朝熊 参詣道中にて昼喰
其晚□□□□□□□□□□

晦日

外宮ニ参詣午刻過より大夫方
方出立□□明□□泊り 百五十文
ツツ

日

曇天少し雨降ル
昼飯 六刻津泊り 貳百文ツツ
兵丹屋

二日

雨天 紀州領野崎村昼飯
関泊り 嶋屋兵七百五十文

三日

曇天少々降ル

大山昼飯 井の国領茶店

水口泊 江戸屋久左エ門百六十文

○関ヨリ坂下迄駕ゴニ乗る

○市場ヨリ水口迄貳里駕コ

四日

曇天

石郡昼 石郡より草津迄駕コ

ニ乗る草津より瀬田迄駕コニ

乗る

瀬田泊り 百三十文ツツ

たはら屋次右衛門

五日

天気 瀬田より石山迄舟石山
より大津迄舟 昼飯三井寺前

茶店 泊り京三条紀国屋伊兵

衛 百七十文ツツ

六日

曇天少々降る 逗留

西陣 天神 金閣寺 妙心寺

七日

天氣 逗留
東山參詣

八日

晴天
朝紀の国屋出立いたし竹田街
道伏見山又昼飯 午の刻過出
舟にて暮方大阪着いとやに逗留

廿二日

大阪出立 天氣 佐海昼飯
貝塚泊り めし宿と貳百文
□□信達出口

廿三日

貝塚ヨリ水間參詣夫ヨリ
安松□進達より根来參詣いたす
川なべ泊り暮ヨリ雨降る

廿四日

雨天 山東
昼喰 藤代 柳屋
湯浅 広久泊り

廿五日

天 東 下
氣 光 向
寺 迨
迎 迎
ひ 来
り 昼
飯 七
ツ 時

戌

（弘一八化四八五年）
（嘉永元年）

未

旅 日 記

申 三 月 吉 日

出立三月十八日

原谷昼飯 楠本屋 嘉吉

糸ノ泊り 松や 嘉定殿

十九日

椋ノ木 昼飯 赤松柳藏

上田井泊り 織屋市五郎

廿日

長田観音 参詣

粉川寺 参詣

妙寺昼飯 花屋源次郎

橋本泊り 河内屋次郎

廿一日

東阿田昼飯 さらいや 源太

よしのへ 参詣

泊りふくろや役之丞

つぼを坂

奥の院 参詣 十躰仏

廿二日

清水谷昼食 ほうちや

御所泊り

廿三日

當麻寺 参詣

吉坂ふじや新藏

染井寺 参詣

達磨寺 参詣

龍田明神 参詣

法隆寺 参詣

郡山泊り 花内や 忠

廿四日

西ノ原 招掲寺参詣

奈良 昼食 いんはんや
庄太郎

猿沢池 春日明神参詣

大 仏 参詣

□ □ □ 地藏 参詣
開帳

三輪泊り 竹田屋甚七

廿五日

長谷寺 参詣

灰原 昼食 油屋

廿六日

名張泊り 小竹屋

伊勢路昼飯 大和や
半右エ門

おやまど泊り 村田忠内

廿七日

八古昼飯

浅田屋
孫助

串田泊り 紅葉や

廿八日

宮川昼飯 柏屋勘三郎

昼過御師着

廿九日

宮 外宮様 西つめ

宇治橋 昼飯

内宮様 参詣

朝熊山(上)り

二見泊り 松坂屋
新助

朝日ノ出拜

朔日

小俣 昼飯 岡田屋

松坂泊り あふすや

四月二日

津昼飯
いつつや

高田門跡様
参詣

関泊り
鶴屋

四月三日

関ノ地藏
参詣

加納筆捨松

土山昼飯
ときはや

岡出泊り
山形や

四月四日

越河昼飯
竹の子や

高宮泊り
丁子や

四月五日

武佐中飯
吉文

守山泊り
さや六右衛門

七日

勢田昼飯
亀や

石山開帳
参る

三井寺参詣
大津泊り
楠本や

京

三十三間堂
参詣

大仏開帳
参詣開帳

六角堂
参詣

大仏前
昼飯みのや

大仏前
みのや
新左エ門

八坂塔
参詣

祇園社
参詣

智恩院
御座敷拜見

南禅寺
参詣

黒谷眞如堂
参り

吉田百万遍
参詣

下加茂
参り

三条泊り
白木屋

勘右エ門

八日

九日

清願寺 六角堂
 本能寺 眞口堂
 御所 拜見
 西陣織屋 見物
 北野天神 参詣
 北野昼飯 木屋源七
 平野金閣寺 拜見
 二条御城拜
 壬生寺 開帳参り
 島原見物
 西本願寺 東本願寺
 六条泊り 姫路屋 勘藏

九日
 稻荷御輿拜見
 東寺八幡参詣
 橋本 昼飯 魚屋七太夫
 舟に乗大坂迄

十日

大阪長堀泊り 紀の国屋
 南御堂 北御堂 参詣
 天満天神 参詣
 天満 昼飯 小山や
 御城番場 拜見
 長堀逗留

十一日

大芝居見物
 忠臣蔵くりかえ
 道頓堀 昼飯 坂田や
 長ほり 逗留

十二日

人形芝居見物
 青山権現
 長ほり 逗留
 生玉 北向 参詣

十五日	貝塚	泊り	かのや	十四日	松之尾御座敷拜見	住吉寺参詣	妙国寺拜見	堺□□□	河内屋	十三日	天保山舟で行	長ほり	逗留	天王寺参詣	天王寺前昼飯	竹田芝居	すがはら、お染久松	長堀逗留
-----	----	----	-----	-----	----------	-------	-------	------	-----	-----	--------	-----	----	-------	--------	------	-----------	------

十九日	鹿ヶ瀬	昼飯	弁當	十八日	む三井寺参詣	紀三方寺参詣	日方昼飯	藤白權現	参詣	泊り	湯浅	廣久	十七日	和歌祭	拜見	五百羅漢	参詣	若山泊り	京喜	十六日	山中中食	福町京喜泊	若山
-----	-----	----	----	-----	--------	--------	------	------	----	----	----	----	-----	-----	----	------	----	------	----	-----	------	-------	----

廿六日 曇

馬に乗一り半

伊勢に伊勢京や辻辻

馬に乗一り半

二日 天気

松坂より津辻

馬二乗五り

〆十三り半

出立十八日

皆時明一治八三七年〇

入湯行道中
并話受弊
記

庚午四月廿五日出立

廿五日 卯下刻 出立

千津 穴池塘 小休ミ

吉川 □□店 休ミ

舟津 滝本、井戸半店、中飯、膳前

二而一盞 茶代 □□□□

辨当持参ニ付□□

高津尾

かぶい峠 小休ミ

姉子

原日裏 平岩にて休み お茶代二厘

権現峠 小休ミ

下阿田木 宮床休ミ

皆瀬 皆瀬坂 麓峠 小休ミ

同所中央にて持参之若加布寿し

開喰

李村

李坂 峠休ミ

同所麓にて荷持参兩人道紛と而待

合長休也

上初湯川 此所藁製小家多し

引宇じ坂

小休ミ数限りなし。同所下
り候節黄昏ニ及び、其上極

難所也

神場

湯本江着 酉少下刻也

湯坏□詞井□□也

廿六日

天気

廿七日

曇天、晝後より大雨少々風交ニ

廿八日

罷ける戌より風止む

巳刻比より雨晴 同日申刻下り

廿九日

曇天

同日妹尾江材木流し看行道中

坂壱つ道頗る小径、丁数廿五

丁同所入口眺望山水美にて極

而面白候半麓前場ニ踊堂之有

此所にも葛製所有之

五月朔日

曇天

同日

龍神行出立

此日昼半之頃女貳人湯浅婆貳人

宮原女三人我等持にて交飯

□□□事也

同日 木浅并諸入用□□此間五 弘

又□七分外□□

二日 由良女貳人同道[？]而出立□道紛

極然所行詰無致方引返し隙候事

下初湯川 峠小休み

笠松

權現様に参詣拜殿にて小休

上阿田木 此処愛川口也

下初湯川

熊野河 寅吉店中飯四人分貳拾目払

但し菓子椀膳附草履三足草

鞋壺足茶代共若鮎竹の子氷

豆腐之類風味吉

熊野河 穢多村

此の間小峠有越方渡有

越方

原日裏

平岩

次郎吉店小休ミ

かぶい 峠

葛代 壺 匁

小休ミ

船津

大熊善兵衛宅休ミ長話

同

井戸半宅長話

吉川

惣兵衛店ニ而野口喜太夫と一

盞右ニ而少喰 □ □ 及び □ □ □

平川

にて夕暮に及び鳥新宅にて灯

提借る

夜

戌下刻 販宅

明治四年^(一八七一年)

辛未正月旅伝にて

伊勢熊野

道中鄙

并舊談記

正月廿三日發足

天氣

天田 塩屋原井戸

野島 加尾上野

楠井 津井印南

光川 西ノ地 島田

切目坂 中山 橋ヶ谷

西岩代 東岩代 櫻峠

山内 南道 切目屋常藏 泊り壺匆參分遣ス

廿四日

曇天 八時より雨揚ル

埴田 椿坂 塚

塚ヨリ中濱迄 中濱 西ノ谷

舟二乗ル 田邊藩 八ノ入リ

江川 田邊藩 下丸

上三栖 中三栖

下三栖 田邊ヨリ 長瀬

長尾 汐見峠 貳里

司馬高原 下三栖より三駕籠雇フ

高原 七屋嘉助泊り

廿五日

天氣

十丈峠 此内箸松と云有

逢坂峠 坂尻

橋折峠 此所傘松と云有・此松根元より凡そ貳丈計上ニ而傘広ゲ候如く妙也

近露 日置川有 御高貳千石

野中 高原より三リ

湯川 此所東端より新道を行湯川

凡十八丁程遠き由能道也

此所村端槻大木有

凡四丈廻り

見越峠 此所出□道

湯ノ峯道別レ也

めんじよ □□家也

湯ノ峯 野中□□リ

此見越峠より道極難所也 此所丸屋文之助泊り

廿六日

川道湯小屋所々道不分明略

天氣

車坂

此坂小栗車引坂と云

本宮

湯ノ峯より廿五丁
□数三四百有と云

橋有本社東向大地十二社權
現結構也
本宮より新宮迄九里八丁船
二乗此價老人貳朱

略記

右

うけ川

左

高山

左

赤滑ら

左

小津賀

右

あじろ

右

平瀬

左

西神

左

むくろ

左

端切

此所
□沢□山
有栗由

左

□養石

此石槍之如く也
門之上壺丈計出たり
此上四□□山と云絶景也

左

川井

右

柳原
川井村出る

左

宮井

右

小舟

右

□賀

右

志こ
貝吹岩有

左

楊枝

此所洛陽三十間之堂
棟木之由來柳切株
古□薬師堂有

右

志ころ

左

ハの記

山本

わ□□

勝間戸

此所は□村出
此上山也
川瀧随一高山由

かなご

山谷一松林有絶景有
此内連摩岩有
此所在弁慶力石有

右

猪村

龜山石有
碎出之如□岩有

此 三重瀧

右

布引瀧

湯水也

左

小瀧阿り

□石

右

葵ノ瀧

此水上六那瀑之別し之
由随分妙也
此所山水二轟きテ絶景也

左

応麻村

右男岩有
女女石

右

まな箸石

包丁岩

左

骨石

釣鐘石

右

水石

此所深淵也
深サ約五丈九尺と云

左

あさり村

宮が瀧
此所御高五千石有よし
新宮領地也

川中

□□□岩

左

瀬原

日末村

右

南日末

おとし 此所より上る

新宮

広津野

三輪崎

新宮より一里半
奥村屋養兵衛泊り

廿七日

曇天

正下刻雨ふる

佐野

松原

う久井

小タシ坂
大クシ坂

岸打浪

此所荒浜也
石□石之如く小名な

